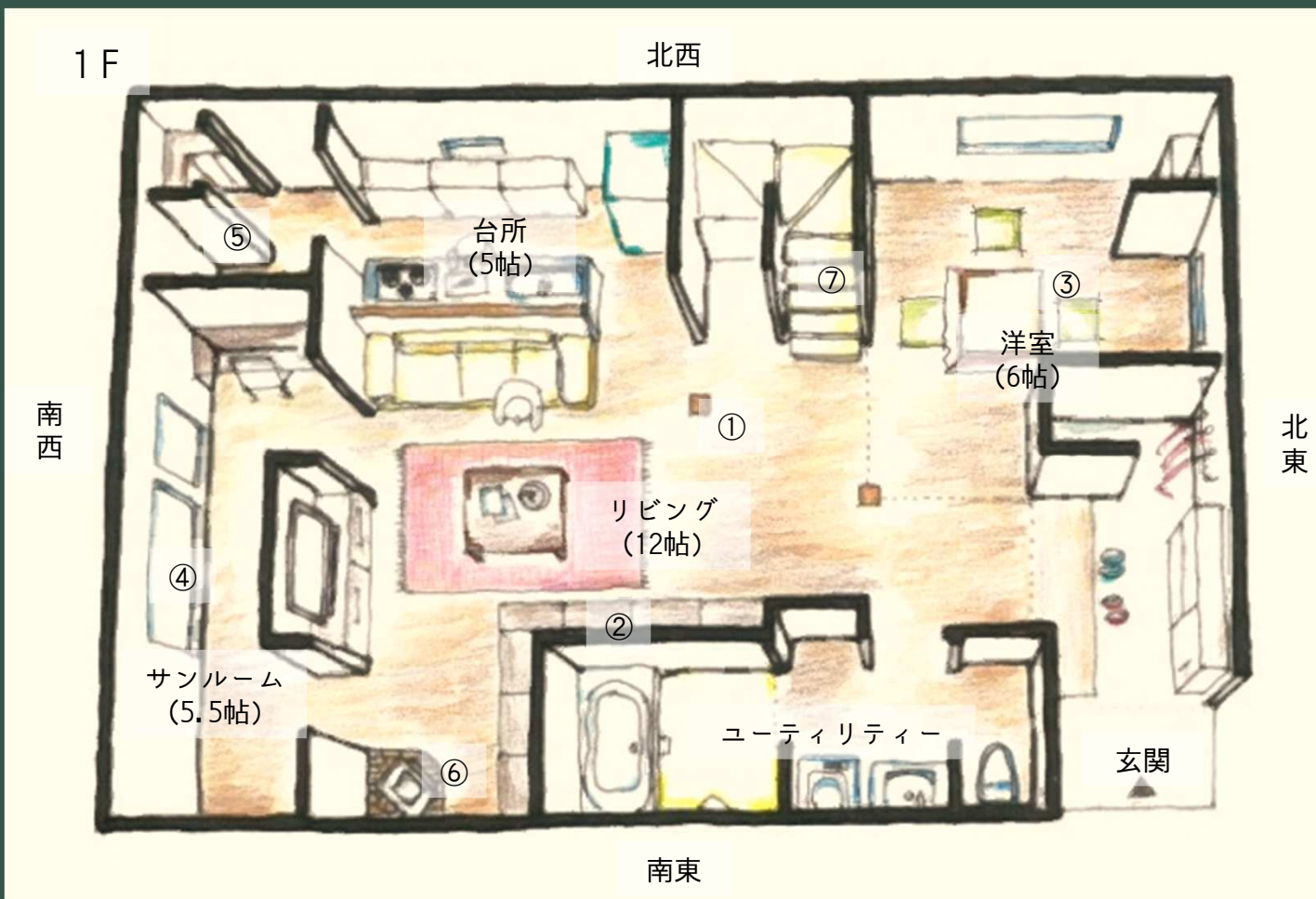


# いちのへん家 大解剖!!



天然無垢材にこだわって、試行錯誤を繰り返しながらつくられた、いちのへん家。  
巷にあるような新品ピカピカのモデルハウスではありませんが、  
家族が生活してゆく中で色濃く風合いを増し、家族と共に成長してきた「木のいえ」を  
皆さんの五感で味わってみてください。  
住み始めて5年、10年・・・無垢の木でつくられた家だからこそ、感じられる経年変化。  
イチノヘが、いちのへん家の良いところ・悪いところ全て、語り尽くします。

(語り手：一戸貴義)



- ① 立派な古材の梁を大黒柱に。我が家の大切なシンボル。
- ② 自慢の大容量の壁面収納。
- ③ 現在、事務所として使用しているスペース、実は掘りごたつ仕様になっています。将来のたのしみに。
- ④ 南向きのサンルームには、目隠し壁をつけ、干している洗濯物が見えないように工夫。
- ⑤ 台所脇のパントリーは、夏でも涼しいので、食料品の保存に最適。
- ⑥ ペレットストーブで、寒い北海道の冬もたのしみに。
- ⑦ 階段は、柔らかな感触の桐材を使用。

# いちのへん家 大解剖!!

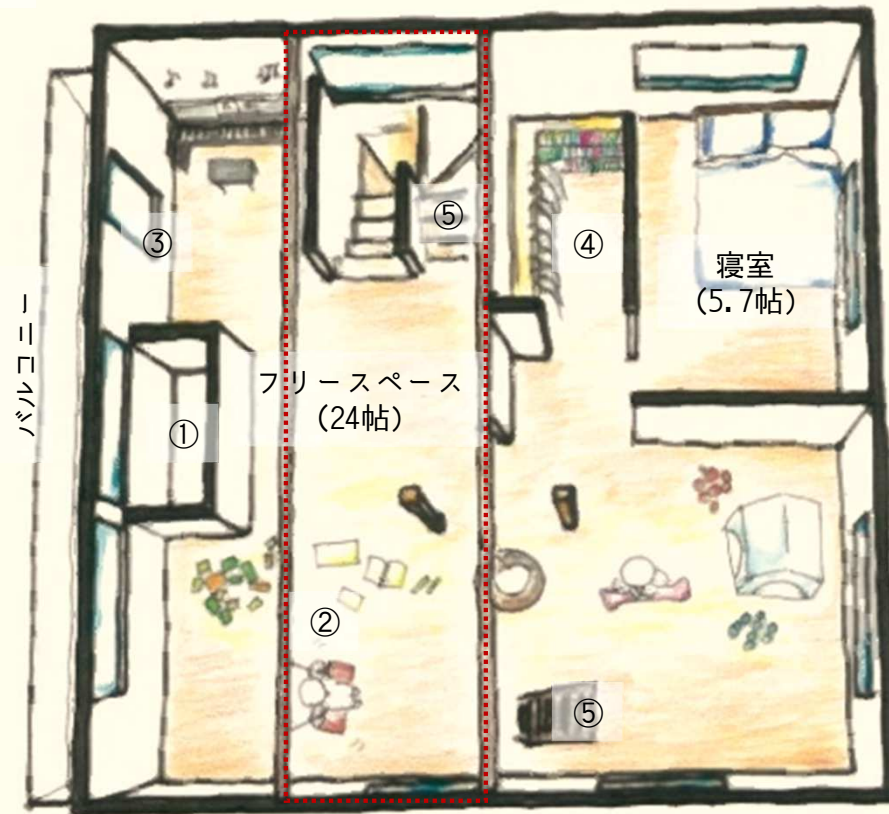
2階は主に、こどもたちのためのスペース。

小さなうちは、のびのびと遊べるように敢えて寝室以外は壁を設けませんでした。

将来的には、間仕切り壁を入れて子供部屋をつくる予定。

(語り手：一戸貴義)

2F



- ① 小さな吹き抜け空間。  
でも、失敗もあったようで…?
  - ② 2本の大きな梁に取り付けた  
お手製のブランコは、こどもたち  
にも大人気。
  - ③ 南東向きの日当たりのよい  
バルコニーへと続きます。
  - ④ 大容量のウォークインクローゼット。  
天井高も高いので、収納力たっぷり。
  - ⑤ 小屋裏へと続く階段と梯子。  
小屋裏なんて、秘密基地みたいで  
大人でもワクワク。
- ⑤ 3階小屋裏スペース。  
どんな風になっているのかは、見ての  
おたのしみ。